



## 環境教育①～土壌汚染について学ぶ～

皆さんお久しぶりです。久々の PNG 海外協力隊だよりとなりました。すでに 2 学期に入っていますが、1 学期の活動を振り返っていこうと思います。まず、今年度力を入れているのは、昨年を引き続いて「算数」と新しく「理科」です。今回は、新しく挑戦した「理科教育」について触れていきたいと思います。私が、今年度理科に挑戦した背景には、赴任地であるポポンデッタの環境にあります。ポポンデッタの町はゴミに溢れていて、子どもから大人までポイ捨てを平気で行っている光景が見られ、環境保全に対する意識の低さが伺えました。また、学校内でも毎朝の清掃が行われているものの、軽食を食べる休み時間後には、ゴミ箱にゴミを捨てずにポイ捨てする子どもが多いので、あっという間にゴミだらけの運動場になっています。このような環境や環境汚染に対する意識を変えたいと思い、理科を教えることにしました。

担当学年：4 年生

人数：95 名以上

⇒教室が足らず、2 クラス（約 40 人学級）が 1 つの教室に入っている。満員電車のような教室。

内容：生き物の関係、植物のライフサイクル、土壌汚染



4 年生の理科では、植物や動物、人間との関係、植物と動物のライフサイクル、土壌汚染、水質汚染など環境に関わる分野を教える学年となっています。

そこで、それらの単元での学習を通して環境教育ができないかと考えました。それでは、実際 1 学期どんな活動したかを見ていきましょう。

### 【その前に…ポポンデッタの町ってこんな感じ】



### 【町のあらゆるゴミ問題】

- ① 町の発展に伴い、プラスチックゴミ（お菓子の包装など）が路上に多く捨ててある。
- ② グアイと呼ばれるタバコのような嗜好品を嗜んでいる人たちが多く、特にポポンデッタはビートルナッツ（グアイを作る材料の一つ）の産地ということもあり、圧倒的に多い。その結果、グアイジェル（赤い液体）やビートルナッツの殻が路上を埋め尽くしている。特に水路のような場所には、赤く染まったゴミが埋め尽くされ、異臭を放っている。
- ③ ゴミ箱が町にない。ポイ捨てが当たり前。

## ① 【植物を育てて、土の役割を知る。】

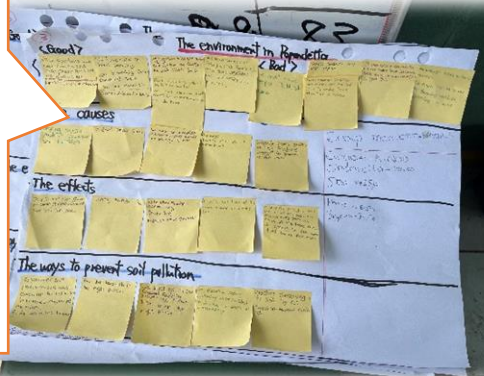
単元の一つに「Life Cycle of Plants」とあり、トマトの種を観察後、児童一人一人がトマトを植えました。植物は汚染された土ではなく、栄養のある綺麗な土の上で育つことを学び、大切にトマトを育てています。



## ② 【土壌汚染について学ぶ】

単元の一つに「Soil Pollution (土壌汚染)」があり、4年生と共に「土の重要性」「土壌汚染の原因と影響」として、「土壌汚染対策」について学びました。ここで暮らしている人たちはなぜポイ捨てを平気でしてしまうのか…。それは「ポイ捨てが環境に悪い」ということや「どのような影響があるか」知らないからだと思いました。授業を通して、「ゴミから出る有害物質が土壌汚染に繋がる」、「その汚染された土で育った植物や動物を食べると、人体に悪影響を及ぼす」「プラスチックは土に分解されない」など知って、驚いている様子でした。その後、学んだことを活かして自分たちの町の環境についてグループごとディスカッションをしました。議題は「ポポンデッタの環境」。特に土壌汚染にフォーカスして、自分たちの町の環境の良い面悪い面、そしてその影響と原因、自分たちには何ができるかを一生懸命話していました。

付箋を貼ってディスカッション。話し合いは授業で初みたいで、戸惑っていましたが、学んだことを活かし、町の環境をよくするために何ができるか、意見を一生懸命出していました。



## 【お知らせ】



JICA の HP に活動の概要・写真と合わせて、PNG 海外協力隊だより（WANTAIM）掲載。

<https://www.jica.go.jp/overseas/png/activities/155435914098.html>

## 『JICA 海外協力隊世界日記』

PNG の他隊員を初め、多くの派遣国での活動や生活の様子が分かります。ぜひ、読んでみてください！

[パプアニューギニア便り \(JICA パプアニューギニア事務所\)](#)

[JICA 海外協力隊の世界日記](#)



@bridge\_png\_jpn

(動画 & 写真見ながら、Instagram のアカウント)